

第2回八丈島再生可能エネルギー利用拡大検討委員会における検討内容

■ 検討の方法

- 主要な検討課題を以下のとおり整理。
 - 各課題を検討するワーキング・グループ(以下「ワーキング」)を本検討委員会に位置づけ
 - 各ワーキングにおける検討状況を随時地元と情報共有し、その意見を反映させながら検討を推進
- 各ワーキングの検討結果を踏まえ、本検討委員会で事業スキーム(主体、資金調達、地元還元など)案の最終整理を図る。

■ 【検討課題 1】 事業実現可能性の精査

➡ 「実現可能性調査(フィジビリティスタディ/FS)」の実施、各検討ワーキングでの検討内容にも有機的に連動 …「第1ワーキング」で進行管理

- 主要地熱発電メーカー設備の性能、コスト、特性等の比較・検証(フラッシュ発電/バイナリー発電など)
- 臭気など懸念事項の検討
…硫化水素による臭気やさびなどの対策を検討。八丈島地熱発電利用拡大検討協議会による詳細調査と連携
- 最適な系統安定化手法の比較・検証
…揚水発電、蓄電池などの系統安定化設備としての機能性の比較、コスト・安全性の精査
- 法令要求事項の整理、対応の検討
…自然保護条例開発許可など
- 派生的コスト(発電所土地取得、送配電線の増強など)を含めた事業収支の精査 など

■ 【検討課題 2】 電力の安定供給に及ぼす影響と対策等

➡ 「第2ワーキング」による検討

- 地熱発電拡大に伴う電力系統の運用に関する検討
…電力系統の周波数・電圧等に及ぼす影響を評価し、電力系統の安定運用に必要な対策等を検討
- 地熱等発電設備の運用方法・体制に関する検討

■ 【検討課題 3】 事業主体の検討

➡ FS及び事業者などへの個別ヒアリングも踏まえ、「第3ワーキング」で検討

- 地元利益をもたらす、安定的な事業執行を行える事業主体選定のためのルールの検討
…事業主体の構成の想定(地元事業者、設備メーカー、開発事業者等の民間事業者の参画の程度)を含む。
- 適切な地元利益を担保するための行政の役割、施策の検討 など

■ 【検討課題 4】 事業効果の地元還元策/関連事業の創出

➡ FS及び住民・事業者との意見交換も踏まえ、「第4ワーキング」で検討

- FSによる事業収支などの精査を踏まえた取組の実現可能性の精査
- 先行実施可能な地熱の利用拡大のモデル事業の検討 など